



清里まちづくり No.12 2009年9月

企画・編集・発行 清里まちづくり協議会 事務広報部会

清里まちづくり協議会事務局

〒370-3573 前橋市青梨子町339 清里公民館内

TEL251-9005 FAX255-0341

<http://www.city.maebashi.gunma.jp/>まちづくり・市民参加

清里ふるさと祭り思い

清里まちづくり協議会
会長 蜂巢昇三

今年、梅雨が明けぬまま夏という異常気象の中、八月一日の祭り当日を迎え、雨空のなか、信号雷を合図に、午後三時、子どもたちが一斉に放す風船飛ばしから、清里ふるさと祭がスタートしました。

子育連の皆様がいろいろと知恵を出し合った、独自のお化け屋敷、手づくりの流しソーメン、模擬店等々、親子ともども楽しい時間を過ごされ、大盛況でした。

午後四時から五時にかけて雷雨に見舞われましたが、その後、青空が見え、東の空に祝うかのように、虹がかかり、六時に夜の部の盆踊りの開始となりました。上青梨子町の伝統の盆踊り、清里自慢の西謡会の八木節、だんべえ踊りと進み、場内にはハッピー姿が目立ちだし、祭りも徐々に盛り上がりを見せてきました。七時三十分のセレモニーには高木市長も駆けつけていただき、お祝いの言葉を頂戴しました。多くの地域の皆様の見上げる夜空に

華々しく、色鮮やかな大輪の花火が打ち上がり、音色の醸し出す一大ページェントに多くの皆様が酔いしれたことと思われまます。



宵間に浮かび上がる盆踊りの舞台
(次々と繰り広げられた熱演)

また、清里の名物になりつつある清里焼きを始め、そば打ち、焼きまんじゅうなどの模擬店も大盛況でした。祭りの最後を飾る抽選会も豪華賞品の当選を願って、最後まで多くの皆様に残っていたいただき、第二回清里ふるさと祭は無事終わることが出来ました。

これもひとえに清里花火打ち上げのために多大な協賛金をいただいたこと、祭り当日多くの皆様からご芳志をいただいたこと、そして初めの準備から最後までご協力いただいた関係の皆様方のおかげと心から感謝

申し上げます。
楽しい夏祭りのひとときを清里地区の皆様と共有出来たことを何よりの喜びといたします。

ふるさと祭りの思い

清里ふるさと祭は、友だちといっしょにまわりました。やきそばとかき氷を食べた後に入ったおぼけやしきは、さい後の所に校長先生の写真があったので、おもしろかったです。花火はハートや大きい花火がきれいでした。(池端町・清里小四年 さいとうしゅんすけ)



私は、清里ふるさと祭りの上青梨子町の盆踊りで笛を吹きました。笛の練習は約二か月かけて取り組みました。最初はこつをつかめず全然音が出なかつたけれど、指導者の人に教わって音が出たときは、とてもうれしかったです。本番は緊張とプレッシャーがあつたけれど、終わった時は皆で心をひとつにして盆踊りが成功して良かったです。清

里ふるさと祭りはとても楽しかったです。(上青梨子町・清里小六年 蜂巢実穂)

ぼくは清里ふるさと祭をととても楽しみにしてました。友だちとたくさん遊べるからです。お化け屋敷も楽しかったし、花火もきれいでした。地域の人たちが、準備から片付けまで一生懸命やってくれたからだと思えます。今度のお祭りも楽しみにしています。(青梨子町・六年 萩原舜太)

清里ふるさと祭は、たくさん役員の人たちのおかげでとても楽しかったです。一番印象に残ったのは、打ち上げ花火です。きれいな花火を近くで見られてとても良かったです。それと、屋台でお父さんが焼いていた焼き鳥がすごくおいしかったです。次回のふるさと祭でも頑張ってほしいと思います。(青梨子町前原・清里小六年 山崎羽衣音)

清里ふるさと祭りでは一番印象に残ったのは、最後に大きな花火を友だちと見ることが出来たことです。途中で雨が降ってきて、花火は中止かなと思つたけど、

雨がやんできれいに花火が上がって良かったです。(清野町・清里小六年 間仁田知哉)

今年の清里ふるさと祭はあいにくの雨でしたが、子どもたちは雨でも模擬店、催し物等、楽しさを満喫していました。数日前から開催に当たり準備してくださいました。実行委員会の皆様のおかげと感謝しております。

(池端町 齋藤 忍)

今年は、異常気象により、主催者側は、非常に心痛があったのではないでしょう。厚く感謝を申し上げます。祭りについては、社会の遊び方が多様化し、いかに皆に参加していただくか、苦労の連続ではなかったかと思えます。そこで私案ですが、①各町の自治会、各種団体等の役員の方にも少しPRしていただき参加者を集める。②休む場所が高齢者席を設けていただければ良いのではないのでしょうか。(池端町 神保芳夫)

やぐらの上では、小気味良いお囃子の音。周りには浴衣姿の踊り手も、祭りを盛り上げ、提灯の明かりの

下で、楽しい光景が広がり、皆の力がひとつになった瞬間でした。次々と夜空を彩る花火の素晴らしさは、夏の思い出となりました。(上青梨子町 笹澤公子)



好評を博した清里焼き
(清里産の枝豆と玉ねぎ使用)

夏の宵、やぐらを囲み円が出来ると、人の輪が出来ると「さあ一座の踊り子さんよ」が始まる上青梨子町盆踊り。はやし方と踊り子が三位一体となってこれまでの練習の成果をいかんなく発揮し、息のあった踊りが披露された。踊り始めは「三つ打ち」「回り打ち」「手拭踊り」と五段の踊りからなっているが、それぞれの踊りに意味がある。小生は、今夏初めて踊りを諸先輩方に習い見よう見まねで踊ったが、この体験はたいへん意味深いものとなった。そしておとなたちと一緒に子ども

も会の子らが伝統ある上青梨子町の盆踊りを後世に伝承してくださることを祈念してやまない。上青梨子町の盆踊りが清里ふるさと祭りで披露されたことは地域文化の伝承と発展並びに人々とのふれあいを通じて親睦を深める良い場であったと思う。踊りに参加してくださった皆様に、清里ふるさと祭りを成功に導いてくださった実行委員の皆様にお礼申し上げます。(上青梨子町・盆踊り保存会 湯浅勝彦)

清里ふるさと祭りが清里公民館を会場に盛大に開催され、子供たちや高齢者等で大にぎわいでした。中でも鮮やかに夜空を染めた打ち上げ花火がたいへんきれいでした。会場



では盆踊りやいろいろな催し物で大盛況でした。この祭りを開催するに当たり自治会長さんを始め役員さんにはたいへんお世話になりましたこと、感謝を申し上げます。(上青梨子町 関根貞治)

当日は雨が降ったりやんだりの不安な空模様でした

が、たくさんの方々に参加していただきました。私たち清里まちづくり協議会も清里焼きにそばづくりにとてんでこ舞の一日でした。お祭りは今何をしているのかと思いつつキャベツを切ったり長芋をすりおろしたり、ほとんど何も観られませんでした。「清里焼き、おいしかったよ」と声をかけていただき嬉しく思いながら、これからも地域の方々々に末長く愛され続ける清里焼きにしていけるよう、まちづくりの皆さんと頑張りたいと思います。(上青梨子町 櫻井登志子)

清里ふるさと祭りに参加し、地区の皆さんとの交流が出来ました。模擬店もそれぞれ趣向を凝らしている、来場者を楽しませようという姿勢が感じられました。盆踊りでは、参加者がひとつになつて踊られました。清里ふるさと祭りは、地区住民の親睦とまちの発展につながると思います。(上青梨子町前原 松下通子)

子育てでは、模擬店、流しソーメン、お化け屋敷を行いました。事前準備はた

いへんでしたが、子供たちの喜ぶ顔を思い浮かべながらいろいろとアイデアを考えました。子どもたちには十分に喜んでもらえたと思います。準備は念入りに行ったつもりですが、百点と言いつつもいかず反省すべき点多々ありました。また行事を通じて地域の力で教育を支えることが出来ません。明るい未来のために頑張ります。最後に、ご協力をいただきました皆さんに感謝を申し上げます。(上青梨子町前原 櫻井勝)

天候に少々恵まれませんでした。皆の心がひとつになり、地域の人たちの集う場として、おとなも子どもも一緒に楽しんでくれたことと思っております。(清野町 松岡好一)

世代を超えた多くの方々が集い、元気な姿、笑顔を見ることができました。たくさんのご協力とご苦勞があつての行事と感謝しております。夜空に美しく輝いた花火が、清里地区の明るい未来を約束してくれました。(清野町 木暮規子)

〈順不同・敬称略〉